

「病 院」 第 55 卷 総目次

1996 年 (第 1 号～第 12 号)

() 内数字は号数, 数字は通巻頁数

特 集

● 病院経営の改善 (1)

病院の経営改善; 経営科学 (Management

Science) への御招待長谷川敏彦 18

聖マリア病院の経営実態とその対応井手義雄 24

患者サービスの改善岩崎 榮 30

病院機能評価事業大道 久 34

病院経営の改革河北博文 38

質疑応答紀伊國猷三・竹内 實・他 42

中小病院の経営管理; 医療施設経営改善支

援事業アンケート調査を検証して竹内 實 48

「医療施設経営改善支援事業」について並木哲也 50

● 大学病院と関連病院との関係を問う (2)

大学病院が期待するこれからの関連病院細田瑤一 122

これからの医師の確保と大学病院

大学人と病院人との認識の差を問う伊賀六一 125

若手医師養成の一考察中山耕作 127

必要な医師は自院で独自に育成する眞栄城優夫 130

臨床研修制度の改善; 特に大学病院と関

連病院との連携について吉田 修 132

大学病院・医局・関連病院本誌編集室 135

大学医局と自治体病院小山田 恵 139

〔座談会〕大学病院と関連病院との関係

は今後どうなる司会: 大道 久

大塚敏文・石橋 晃・寺本成美・山根至二 142

● 病院経営と医薬分業をめぐる (3)

医薬分業の現状と今後の課題石井甲一 218

病院経営からみた医薬分業谷田一久 222

急成長を続ける調剤薬局ビジネスの現状川渕孝一 226

薬剤指導管理業務の現状と将来齋藤佑也 230

医薬品卸売業からみた薬価問題秋山孝二 236

薬価の国際比較と薬の真の有用性評価; 評

価の確立した安価な薬を使用し技術料に

向けるべき浜 六郎 240

〔てい談〕薬剤給付における調剤薬局の

役割佐谷圭一・下村 健・竹内 實 245

〈てい談〉に対するコメント加賀重夫 251

● 二交替制看護を追う (4)

何故二交替制勤務か; ようやく選択できる

時代に高橋美智 322

看護サービスは 24 時間嶋崎佐智子 326

二交替制看護の現場の声; 管理者として/

看護婦として

二交替制勤務の成果真柴裕人 330

ナースが選んだ働きやすい勤務体制畑瀬初美 331

二交替制看護の実施状況と評価梅園 明 333

経験により勤務体制は前進できる遠山千恵子 334

部分的夜勤専従体制を取り入れた二交

替制の試み小林武彦 335

選択できる勤務体制を目指して; 夜勤

専従を試みて北川美恵子・杉浦博子 336

救命救急センターにおける二交替制看護 林 成之 337

救命救急センターにおける 12 時間二交替

制勤務の評価松月みどり 338

疲労と二交替制勤務市川幾恵 340

看護形態の多様化に関する法的・経済的側

面の検討山崎慶子 344

二交替制勤務についての検討相川文子 351

フレックスタイムの活用; 365 日 24 時間の

巡回介護の実践を踏まえて井上敏機 354

〔座談会〕二交替制勤務の評価司会: 紀伊國猷三

竹内 實・原ハツエ・谷川睦子・藤枝知子 358

〔資料〕「国立病院・療養所における「二交替制勤

務体制の実証的研究」結果について; 『看護婦

アンケート』報告325, 329, 350

● 病院管理者としての女性 (5)

〔対談〕管理職と女性清水嘉与子・坂東真理子 422

21 世紀に向けた女性像; 病院と女性橋本葉子 430

世界と日本の女医の動向酒井シヅ 432

女性病院管理者からの提言

女院長 35 年で知った病院経営で一番大事

なこと安藤明子 437

パターンリズムからパートナーシップへ 中澤明子 438

男性とはひと味違った管理者に太田緑子 440

病院管理者として心を広く大濱正子 442

看護を目指す人に私の歩んだ道を振り返

って提言する小原恭子 443

経営感覚を身につけよう山本俊子 445

積極的にチャレンジしよう青木孝子 446

女性管理者となる女性に望む

女性理事長に望む須藤祐司 448

女性院長に望む藤沢正清 449

女性事務長に望む梅津勝男 450

平成 6 年医師調査の概況の抜粋436

● 病院のネットワーク化を追う (6)

病院のグループ化とは; ネットワーク化へ

のステップ河北博文 534

医療機関のネットワーキング中村仁一 537

米国における病院のネットワーク化

.....Andy T. Ninomiya 541

大学病院におけるネットワーク化

.....畑 隆志・吉村博邦・大和田隆 543

ネットワーク化の試み; 県をまたいで医療

情報を大田浩右・佐藤昇樹 547

パソコン通信, インターネットを活用した

医療情報サービス平川淳一 551

大学病院間の医療情報ネットワーク化高橋 隆 555

島嶼医療の将来ビジョン; 保健医療福祉ネ

ットワークサービスの展開石野 誠 561

● 医療機能評価で病院はどうなる——(7)

〔インタビュー〕医療機能評価の問題点；池

上直己慶應義塾大学教授に聞く	630
日本医療機能評価機構の歩みと活動	634
病院運営と第三者機能評価	639
第三者医療機能評価を経験して	
院長の立場から	643
事務局長の立場から	645
評価者および診療管理者の立場から	647
機構研修委員の立場から；医療機能評価	
の問題点	649

〔座談会〕医療機能評価で病院はどうなる

磯部文雄・星 和夫	
木村 厚・紀伊國献三	651

● 待ち時間解消はどこまでできるか——(8)

“待つ”“待たされる”の心理；病院の待ち

時間に関する心理学的考察	726
病院の待ちの実態；タイムスタディによる	
外来診療における待ち時間の分析	731
「待ち」の総体的環境	734
予約診療制度の活用	738
当院の再診予約制	741
待たせない手だてと患者の評判	

自動支払機導入による患者待ち時間解消

梶野學而・山下 稔	744
外来会計の自動引き落とし清算	746
患者にポケットベルを	748
ダブルダブルトラック診療	750
待ち時間における予診の役割	752
オーダリングシステム；その導入はトータルでどれくらいの時間を効率的に短縮できたか	754
表示・案内の工夫	756

待ち時間解消対策の総合的成果

診療前受け付けの時間的分散に努力を傾注	760
特定機能病院として定着すればさらに効果を発揮	762

● 診療報酬改定・96年4月を検証する——(9)

〔座談会〕診療報酬改定・96年4月を検証する

『病院』編集委員会	830
平成8年度診療報酬改定の意義	
日本医師会の立場から	838
厚生省老人保健福祉局老人保健課の立場から	840
厚生省保健局医療課の立場から	842
診療報酬からみた医療施設の機能分化	846
中小病院のケアミックス	851
診療報酬改定前・改定後の病院経営の変化	
200床以上の民間病院の立場から	855
専門病院の立場から	858
中小病院の立場から	860
介護力強化病院の立場から	863
精神病院の立場から	865

特定機能病院の立場から

山下貢司・三宅博文・小橋 誠	867
200床以上の公立病院の立場から	869
今後の診療報酬体系の政策展開	873

● 介護保険制度をめぐって——(10)

〔座談会〕介護保険をめぐって

青柳 俊・吉岡 充・栃本一三郎・増子忠道	926
介護保険法と老人病院	936
介護力強化型病院と療養型病床群の対応	941
医療機関・施設における介護の国際比較	949
保健・医療・福祉を連携したシステム	
小さな町の小さな試み	955
茨城県住民参加型地域ケアシステムの試み	957
「時代」と歩調を合わせつつ；済生会泉尾病院グループの報告	959
要介護高齢者の生活介護支援の調整は誰がするのか？	961
保健・医療・福祉を連携した在宅ケアシステム	963

● 補助金と病院経営——(11)

〈インタビュー〉補助金への民間病院—その考え方

谷 修一	1022
医療機関経営健全化総合対策とその後の動き	1024
医療貸し付けの現状と課題	1029
補助金政策と病院のビヘイビア	1034
病院のリニューアルに補助金をどう活用したか	
リハビリテーション専門病床のリニューアル	1040
小豆沢病院	1040
痴呆性老人専門病棟の改築	1042
院	1042
老人性痴呆疾患治療棟および療養棟の改築	1043
白根緑ヶ丘病院	1043
看護婦宿舎の新設	1045
原町赤十字病院	1045
全面的な建て替え計画	1046
柳原病院	1046

〔資料〕病院への補助金事業など

都道府県／財団法人地域整備総合財団／厚生省の医療施設等施設整備に対する補助金制度	1048
--	------

● 「薬害問題」から学ぶこと——(12)

臨床医としての薬害問題	1118
薬害に対する医学研究者の対応	1123
問われる薬剤師の社会的指名；医薬品市販後監視の徹底を	1127
森久美子	1127
コンピュータによる副作用・相互作用のチェック	1131
向井呈一	1131
医薬品副作用情報とその伝達の状況	1136
高橋隆一	1136
わが国における新薬承認制度の現状と課題	
池田俊也・池田三恵	1141
薬害被害者救済対策	1146
榊原 毅	1146
薬害エイズ；その原因、比較と葛藤	
Eric A. Feldman	1151

グラフ

救命救急センターを併設し北勢地区の基幹総合病院 に 三重県立総合医療センター	9 (1)
親切的医療をモットーに地域に待たれた医療を展開 する 川口市立医療センター	113 (2)
公的病院として地域のニーズに対応 鳥取県済生会 境港総合病院	209 (3)
113 年の歴史をもつ県下最古の民間病院 松村総合 病院・舞子浜病院	313 (4)
これからの 100 年に向けて整備を進める 国家公務 員等共済組合連合会総合病院横須賀共済病院	413 (5)
宍岐の医療を担う民間医療機関のネットワーク 光武内科循環器科病院, 光風, 江田小児科医院, 松嶋病院, 大蔵医院	517 (6)
東三河地域の基幹病院が新築移転 豊橋市民病院	621 (7)
10 年の構想を果らせる一済生会宇都宮病院	717 (8)
「生活」を総合的に支える医療を展開—医療法人社団 三草会在宅支援事業部/クラーク病院/老人保健施設 もえれパークサイド	821 (9)
地域の中核病院として 2 次, 3 次機能を整備—特定医 療法人関越病院	917 (10)
「市民病院」としても地域の医療に大いに貢献 三重 県厚生連鈴鹿中央総合病院	1013 (11)
岩手県東北の核としてリハビリ医療を展開—財団法人 人みちのく愛隣会東八幡平病院	1109 (12)

人

藤沢正清・第 46 回日本病院学会会長	高橋勝三 16 (1)
奈良 勲・社団法人日本理学療法士協会会 長	半田一登 120 (2)
寺山久美子・社団法人日本作業療法士協会 会長	杉原素子 216 (3)
小山和作・第 37 回日本人間ドック学会会長	日野原重明 320 (4)
天本 宏・老人の専門医療を考える会を主 宰	河北博文 420 (5)
坪井栄孝・日本医師会会長に就任	梅垣洋一郎 524 (6)
西村昭男・医療法人日鋼記念病院理事長	桜井靖之 628 (7)
原田充善・第 35 回自治体病院学会会長	佐藤泰三 724 (8)
矢野侃夫・第 36 回全国国保地域医療学会会 長	今井正信 828 (9)
岩崎 榮・第 25 回日本病院設備学会会長	小山秀夫 922 (10)
紀伊國猷三・国際医療福祉大学医療福祉学 部長に就任	大谷藤郎 1120 (11)
木村 明・日本診療録管理学会理事長, 新 潟市民病院院長	山本修三 1116 (12)

主張

死ぬということ	17 (1)
特定機能病院と地域医療	121 (2)
規制緩和と病院	217 (3)
「大過なく」をタブーに	321 (4)
病院の進路	421 (5)

プライバシーの配慮への医療評価の低さ	525 (6)
なぜ病院に自主性が芽生えないのか	629 (7)
医療における記録について	725 (8)
後継者の育成と選任	829 (9)
人事考課制度の導入を!	925 (10)
まず基本理念変更の議論を	1021 (11)
医療制度改革と病院	1117 (12)

〈対談シリーズ〉「介護問題をめぐって」

医療現場における介護問題	奥川幸子・浜村明徳 56 (1)
地域医療と介護問題	鎌田 實・矢島 嶺 154 (2)
[特別インタビュー] 与党福祉プロジェク トチームの介護制度創設「第 2 次中間ま とめ」をめぐって—今井澄参議院厚生委 員長に聞く	252 (3)
地域リハビリテーションの今後の展開と介 護問題	大田仁史・堀尾慎彌 370 (4)
政策課題としての介護問題	今井 澄・菅 直人 526 (6)

病院主導の保健・医療・福祉複合体の実証的研 究(二木 立)

連載を始めるに当たって筆者の課題意識と各回(全 6 回)の主題	1062 (11)
第 1 報 その 1 医療機関を「母体」とする特別養 護老人ホームの全国調査	1161 (12)

21 世紀の病院経営

病院をめぐる今後の医療政策	糸氏英吉 1085 (11)
21 世紀の病院経営; 今後の医療提供施設に ついて	宮坂雄平 1091 (11)
[パネルディスカッション] 診療報酬改定をめぐって 今後の診療報酬の在り方についての日医 の考え方	菅谷 忍 1154 (12)
平成 8 年診療報酬改定のポイントと医療保 険制度の改革	下田智久 1156 (12)
平成 8 年度老人診療報酬等の改定の概要 と今後の老人医療の在り方	尾畚新平 1158 (12)

インタビュー

ある町立病院の再生に向けて 4 年—満岡孝 雄大樹町立健康保険病院院長に聞く	169 (2)
らい予防法の見直しと行政・医学の責任— 大谷藤郎藤楓協合理事長・国際医療福祉 大学学長に聞く	260 (3)
ある公立病院の院長交代と医療の継承 ……………梶原美勝・山口 昇	452 (5)
大学における医療経営管理の専門家の育 成—紀伊國猷三東京女子医科大学教授 に聞く	1059 (11)

病院進化論(古川俊之)

マンモス化と過適応の歴史	480 (5)
巨大化とスケールメリット	565 (6)
矮小種からの進化はあるか	663 (7)

第三世代への進化	766 (8)
進化の加速と寿命の短縮化	966 (10)

特別寄稿

消費税の損税と償還制度	長 隆 64 (1)
総合病院におけるインフォームド・コンセントー当院における委員会の取り組み	山雄久美・松岡豊子・溝口とみ枝 458 (5)
星野雅代・可見延子・奥野雅子	458 (5)
緩和ケアと一般病院の対応	武田文和 971 (10)

研究と報告

パソコンのみを用いた医事業務電算化	大久保恒正・松下捷彦 70 (1)
病院の色彩環境に関する調査	半田晃子・中山栄純・佐藤千史 791 (8)
抗菌文具の院内感染予防効果の基礎的検討	林 俊治・藤井暢弘 1188 (12)

アーキテクチャー保健・医療・福祉

[座談会] 災害と医療施設	山本保博・新道幸恵 長澤 泰・河口 豊 74 (1)
都立荏原病院	鎌田整衿 163 (2)
特別養護老人ホーム2題	いずみの苑 山崎貞信 264 (3)
アルペンハイツ	柳原春秋 268 (3)
愛知県がんセンター	石田 好 379 (4)
愛知県がんセンターの基本計画	柳澤 忠 380 (4)
使ってみて一言	小川一誠 385 (4)
療養型病床群	山下哲郎 471 (5)
北米の病院等に見るパブリック・スペースの演出	栗原嘉一郎 580 (6)
国立病院東京災害医療センター	伊豆倉真 668 (7)
病院建築のライフスパン	寛 淳夫 774 (8)
国民健康保険五戸総合病院	松浦 一・高橋 明 886 (9)
病院食事サービスのパラダイムシフト	病院食事サービスのパラダイムシフト 長澤 泰 978 (10)
給食システムと関連施設	堀田正治 979 (10)
フルセレクト, フロア管理, クックチル ; 給食システムの改革を	金山節子 983 (10)
亀田クリニック	川名直樹 1064 (11)
いわてリハビリテーションセンター	安川修治 1170 (12)

訪問看護ステーション 実践レポートー北から南から

竹田訪問看護ステーションの現状	竹田 秀 177 (2)
医師および利用者, 家族から評価を受けた熊本医師会訪問看護ステーション	松本ヤヨイ 271 (3)
病院と行政の結合で保健・医療・福祉を統合サービス 訪問看護ステーション「みつぎ」	平野幸江 575 (6)
川崎幸病院の在宅医療を基盤に2年目から黒字に さいわい訪問看護ステーション	清崎由美子 692 (7)
継続サービスの実施に, 待ちの医療福祉か	

ら出掛ける医療福祉に; 訪問看護ステーションおおはら	児玉博行 796 (8)
地域に根づくステーションを目指して; 港北医療センター訪問看護ステーション	乙坂佳代 996 (10)
住民ニーズに応じた丁寧なケアを目指す; 訪問看護ステーション若宮苑	金子啓子 1180 (12)

ナースステーション考

佐世保市立総合病院	山口美代子・梶原正樹 396 (4)
北九州市立医療センター	青木和枝・寛 淳夫 600 (6)
宗像水光会総合病院	安川文朗・青木和枝 1190 (12)

病院経営の新しい指標

病院の新しい経営指標	梅里良正 88 (1)
経営管理評価指標と指標の統合化	関田康慶 387 (4)
病院競争下における経営意思決定への分布関数分析の導入と利用法	関田康慶 676 (7)
新指標を創造する経営手法	石塚隆男 778 (8)
新しい病院経営指標	川淵孝一 896 (9)
中小病院の経営のために	西田憲策・竹内 實 1082 (11)

精神保健福祉法と病院の対応

精神保健福祉法改正と精神医療	仙波恒雄 276 (3)
社会復帰	浅井邦彦 484 (5)
精神保健福祉法と人権擁護	高柳 功 585 (6)
チーム医療とマンパワー	三村孝一 696 (7)
地域精神医療と地域ケア	渡嘉敷暁 781 (8)
司法精神医学の視点から	山上 皓 988 (10)

医療の質の評価と改善

組織・運営・戦略におけるトータル・クオリティー(今中雄一)

患者満足から広義のCSへ	658 (7)
医療のプロセスへのアプローチケアマップをめぐって	892 (9)
医療施設の機能評価(1)ー背景と基本概念	1070 (11)
医療施設の機能評価(2)ー方法論の現状と将来性	1176 (12)

「医療施設近代化施設整備事業」による病院の建て替え

笠岡第一病院	宮島厚介・和田繁市 94 (1)
幸野病院	幸野 仁 292 (3)
広島県済生会呉病院	野間 堯・山田勝士 492 (5)
財団法人育成会横浜病院	宮内政光・稲垣博昭 590 (6)
上飯田第二病院	森 正樹 690 (7)
貝山中央病院	貝山 仁 884 (9)
大森会第一病院	伊藤伸一 1180 (11)

癒しの環境

病院における癒しの環境	高柳和 92 (1)
生活実感の環境	石向節子 290 (3)
落ちつく環境	三宅康夫 496 (5)
痛みを止める, がまんする環境	クミコ・クリストフ 592 (6)
ほっとするトイレ環境	星 和夫 688 (7)
歩きたくなる廊下	横山睦子 794 (8)

わかりやすい環境	栗原嘉一郎	880 (9)
病院のサウンドスケープ	服部俊子	994 (10)
遊びたくなる階段	公文 康	1076 (11)
待って退屈しないエレベータ前	伊藤タカ	1186 (12)

厚生行政展望(厚生行政研究会)

コーヒープレイク/’96 新春座談会/1997 年 4 月に向 けて動き出す今年の厚生行政	82 (1)
大学病院の弊害	152 (2)
医療法人制度の論点	280 (3)
新規施策と医療費抑制	368 (4)
診療報酬点数改定の流れからみる病院の将来	490 (5)
医療審議会の答申を斬る	578 (6)
「葉害エイズ」問題について	682 (7)
医療保険改革のプログラム	772 (8)
医療保険改革の行方を占う	878 (9)
O-157 について	976 (10)
新興・再興感染症	1074 (11)
欧米諸国の医療改革の動向	1168 (12)

病院管理フォーラム

[放射線設備・機器管理Q & A] (諸澄邦彦)		
診療用放射性同位元素の許可手続き	96 (1)	
診療用放射性同位元素使用施設の構造設備	186 (2)	
診療用放射性同位元素使用施設の放射線管理	282 (3)	
[病院図書室]		
インターネットと病院図書室	谷澤滋生	180 (2)
ニューメディア時代の病院図書室	山口直比古	286 (3)
病院図書室と日本医学図書館協会(JMLA) 青木孝雄	596 (6)	
病院管理者から見た病院図書室	白方誠彌	686 (7)
これからの病院図書室	奈良岡功・野原千鶴	802 (8)
[病院関連サービス]		
聖路加サービスセンターの事業(5)食堂運営 石山 稔	210 (2)	
[薬剤師の新たな業務]		
臨床薬剤業務と薬剤師養成	厚田幸一郎・島田慈彦	284 (3)
薬学部学生の病院実習	厚田幸一郎	494 (5)
薬剤管理指導業務(1)一概要と基本業務	高橋賢成	594 (6)
薬剤管理指導業務(2)一実践編	赤瀬朋秀・岡崎憲代	684 (7)
TDM業務	木村利美・島田慈彦	806 (8)
医薬品情報室業務; 変化に応じた情報の収 集と提供	露崎浩子・舟岡美砂子	882 (9)
外来患者への服薬指導	坂倉智子・厚田幸一郎	992 (10)
集団教育(1)一糖尿病教室	厚田幸一郎・難波昭雄・島田慈彦	1078 (11)
集団教育(2)一膠原病教室	国分秀也・本橋 茂 厚田幸一郎・島田慈彦	1184 (12)

レポート

大型自治体病院の経営実態を分析する		
[第I部] 500 床以上の中核病院 50 の経営 を8~12 年フォローして	武 弘道	391 (4)
[第II部] 給与および職員数の変化	武 弘道	464 (5)
[第III部] 経営の善しあしを左右する諸因 子の検討と経営改善のための提言	武 弘道	569 (6)

公立病院グループの再編	草刈典美	786 (8)
-------------------	------	---------

ケース・レポート

Windows™ に基づく処方オーダーリング・ プログラム(Mei-Reps)の使用経験後藤義朗・宮崎 悦・西堀佳樹・松山友彦 青木 茂・白川春美・小澤寿樹・金谷邦人		
257 (3)		
看護部から見たケアミックスの評価; 病棟 の役割がはっきりして、患者さんも明る くなる		
468 (5)		橋田百合子・長屋真理子・土田ハル

提案

二次三次救急医療体制の夜勤当直医師の過 重労働解消と救急医療の質向上への提案 伊藤 研	174 (2)
--	---------

MSWの相談窓口から

キーワードは感性と人間観	奥村晴彦	189 (2)
ひとりりでしか生きていけない	和田光徳	589 (6)

データファイル

医療関連サービス基本問題検討会報告書	98 (1)
「国立病院・療養所の政策医療、再編成等に関する懇 談会」最終報告の概要	100 (1)
中医協・診療報酬基本問題検討委員会小委員会報告 書	190 (2)
臨床研修制度改善に関する「医療関係者審議会臨床 研修部会臨床研修検討小委員会」の現時点での考 え方について	192 (2)
平成 6 年医師・歯科医師・薬剤師調査の概況(平成 6 年 12 月 31 日現在)	193 (2)
新たな高齢者介護制度について(第 2 次報告)の概要	294 (3)
高齢者の新介護制度に関する諸団体の要望と意見 ...	295 (3)
「障害者プラン(ノーマライゼーション 7 か年戦 略)」の概要	299 (3)
医療施設近代化施設整備事業の補助要綱(平成 8 年度 からの補助要綱案)	399 (4)
平成 8 年度の医療費適正化対策	399 (4)
適正な医薬分業の推進	400 (4)
保険医療機関等に対する新指導大綱・監査要綱	400 (4)
平成 7 年 6 月病院運営実態分析調査の概要・1	499 (5)
医薬・歯科医薬の診療科名について	502 (5)
規制緩和推進計画の改定について	503 (5)
高齢者介護保険制度の創設について(概要)「審議の 概要・国民の議論を深めるために」一老人保健福 祉審議会報告	603 (6)
安心の介護をみんなの負担で一公的介護保険創設に 当たっての基本的考え方(要旨)	607 (6)
介護保障確立に向けての基本的な考え方(要旨)	607 (6)
介護保険制度試案(概要)	607 (6)
平成 7 年 6 月病院運営実態分析調査の概要・2	703 (7)
平成 7 年 6 月医療経済実態調査(医療機関等調査)の 概況	900 (9)
今後の医療保険制度改革について	999 (10)
「医師に求められる社会的責任」についての報告; 良	

きプロフェッショナリズムを目指して 1094 (11)
平成 7 年医療施設調査の概況-1. 医療施設調査..... 1193 (12)

医学ごよみ (木村専太郎)

1 月/103 (1), 2 月/199 (2), 3 月/301 (3), 4 月/403 (4), 5 月/505 (5), 6 月/611 (6), 7 月/707 (7), 8 月/809 (8), 9 月/907 (9), 10 月/1003 (10), 11 月/1099 (11), 12 月/1197 (12)

その他

☆書評と紹介 吉成道夫 33 (1), 63 (1), 若月俊一 134 (2), 大宮東生 151 (2), 松村真司 244 (3), 353 (4), 岡本悦司 378 (4), 西三郎 428 (5), 高橋隆一 489 (5), 西 満正 546 (6), 上野文昭 550 (6), 滝上宗次郎 599 (6), 681 (7), 上村良一 730 (8), 小野寺昭一 765 (8), 原島三郎 771 (8), 780 (8), 872 (9), 久保木富房 948 (10), 武内昶篤 1058 (11), 紀伊國猷三 1140 (12)
☆機器・ビジネス・INFOMATION 73 (1), 188 (2), 395 (4),

675 (7), 808 (8), 1093 (11), 1150 (12)

☆お知らせ 日本在宅ケア学会 91 (1), 医学書院ホームページ (インターネット) を開設しました 542 (6), 第 13 回 (平成 8 年度) (財) 総合健康推進財団研究奨励助成金応募要項 633 (7), 第 5 回 JAMIC 懸賞論文応募作品募集 845 (9)

☆研究会より ホスピタル・アメニティ研究会が発足 221 (3)

☆ニュース 医療福祉建築賞 1995 決定-日本医療建築協会 638 (7)

☆バックナンバーと特集テーマ 138 (2), 398 (4), 568 (6), 777 (8), 991 (10), 1160 (12)

☆訂正とお詫び 495 (5), 1100 (11)

☆投稿規定 141 (2), 239 (3), 498 (5), 536 (6), 801 (8), 1135 (12)

☆告知版/次号予告/本郷だより 104 (1), 200 (2), 302 (3), 404 (4), 506 (5), 612 (6), 708 (7), 810 (8), 908 (9), 1004 (10), 1100 (11), 1198 (12)